

平成 19 年度第 1 回環境大気測定機の信頼性評価検討会 議事概要

1. 日時 平成 19 年 9 月 11 日 (火) 10:04 ~ 12:17
2. 場所 ルーテル市ヶ谷センター
3. 議事
 - (1) 基本性能試験結果について
 - (2) 並行測定結果について
 - (3) 硫化水素による測定値への影響について
 - (4) 光学フィルター以外の影響について
 - (5) その他
4. 議事
 - (1) 基本性能試験結果について

事務局より、基本性能試験結果の見直し事項について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

 - ・水分影響の違いについて確認すること。
 - (2) 並行測定結果について

事務局より、並行測定結果について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

 - ・解析において、平成 17 年度の試験結果との比較や、季節別の特徴、NO₂ 以外の一致性の記述などを加えること。
 - (3) 硫化水素による測定値への影響について

事務局より、硫化水素による測定値への影響について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

 - ・硫化水素濃度と NO 濃度、濃度比、湿度との関連を解析すること。
 - (4) 光学フィルター以外の影響について

事務局より、光学フィルター以外の影響について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

 - ・不具合の改修について、どの時点でどの内容の改修を行ったのか確認すること。
 - ・測定機の維持管理のため、3ヶ月に1度コンバータを交換するとなると、それに対応できる設計が必要ではないか。
 - ・コンバータの寿命が短いのは、構造上の問題ではないか。
 - (5) その他

(社)日本環境技術協会より、並行測定の確認試験について説明が行われた。委員からの主な意見は次のとおり。

- ・バッファタンクによる測定値への影響 ($\text{NO} + \text{O}_3 \rightarrow \text{NO}_2$ の反応による NO_2 の増加、 O_3 の損失) が見られた。
- ・島津の測定機では、 NO_2 の瞬時値がマイナスと計算された場合、 NO_2 の 1 時間平均値の演算にはゼロとして計算していた。
- ・試料採取において NO とオゾンの反応に配慮したマニュアルを整理すべきであり、モニタリングを行っている自治体に情報を伝えるべき。